

令和4年度 相模原弥栄高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。	10月に不祥事防止研修会を行った。その際、「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」（カード）を職員が常時携帯することを確認するとともに、職員の行動指針を周知し、職員との日ごろからの会話や職員会議等を通じて意識啓発に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮し、職場のパワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等を防止する。	6月及び2月に不祥事防止研修会を実施した。日ごろから風通しのよい職場づくりを通じて、気にかかる小さなことから注意を喚起し、そうした不祥事が起こる環境を作らないように努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の発生を防止する。	4月に不祥事防止研修会を実施した。「性被害の影響について理解を深める」の視聴を通して全職員で班別協議を行った。また、研修会後「不祥事根絶のための自己点検シート」を活用し取組の徹底を図った。 5月の不祥事防止研修会では「自己を見つめるチェックシート」を活用しわいせつ事案をはじめとした不祥事の根絶に向けた取組を行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導の発生を防止する。	9月に不祥事防止研修会を実施した。日常的に生徒指導に関する情報交換を密に行い体罰の防止に努めるとともに、生徒の変化に注意を払い生徒理解に基づいた適切な指導を行った。また、いじめや暴力に係る生徒アンケートを実施しいじめの根絶、未然防止に努めた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	適切な成績処理、誤りのない進路関係書類の作成及び取扱いの徹底を図り、決して事故を発生させない体制整備に努める。	5月及び7月に不祥事防止研修会を実施した。成績一覧表、通知表、指導要録や調査書等の作成マニュアルに基づき、職員が正しく理解し、作成できるよう、適切に遂行し徹底した。また、進級や卒業に関する生徒及び保護者への適切な指導を行うため、必要な情報の共有と意識啓発に努めた。
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。	4月に「生徒の個人情報（連作先）への収集について」を用いて不祥事防止研修会を実施した。研修会や朝の打合せ等を通じて、適切な管理のため意識啓発を行った。11月に不祥事防止研修会を実施した。また、11月に実施された情報セキュリティ監査における指摘事項について全職員に周知した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法令を遵守して交通事故の発生を未然に防止するとともに、全教職員が決して酒酔い酒気帯び運転を行わないよう意思の統一を図る。	1月に不祥事防止研修会を実施した。研修会や朝の打合せ等を通じて、法令を遵守する姿勢をもたせ、交通事故の未然防止を徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	円滑な公務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。	12月に不祥事防止研修会を実施した。日常から管理職を含む教職員間で気になること、ヒヤリとしたりはったりすることなどの情報を共有し、不祥事の未然防止に努める職場環境づくりを目指した。
財務事務等の適正執行	財務事務等を適正に執行し、事故の発生を未然に防止する。	9月及び12月に不祥事防止研修会を実施した。また、7月に実施した県立学校財務事務調査の指導結果に基づき、全職員で指摘事項の共有をするとともに、事故のない職場環境づくりを目指した。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に関する業務に適切に取り組む、事故防止に努める。	1月に不祥事防止研修会を実施した。入学者選抜を目前とし全職員で業務内容を確認するとともに県内の過去の事故事案から事故の未然防止に努めた。
校長による教職員への面接	校長は各教職員に面接を実施したうえ、一人ひとりにおける事故・不祥事防止の取組状況を確認するとともに、不十分な状況が確認された場合は、必要な指導を行う。	校長は、職員の自己観察書や観察指導記録の作成場面、授業観察等の振り返り等、年間を通じて適時・適切な面接を行うとともに、事故防止の取組状況を確認した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

本校では、日ごろから国や県の動向や新聞記事等の情報をもとに、朝の職員打ち合わせや職員室内での掲示等を通して職員への事故・不祥事防止に係る注意喚起を行うようにしてきた。

校長として、職員一人ひとりに対しても声かけを大切にして、風通しのよい職場づくりに努めながら、指導・監督、注意喚起を行ってきた。さらに、教職員による不祥事の未然防止、早期発見及び再発防止のための実効性のある対策や対応に取り組むことを目的とした不祥事防止会議の協議に基づき、不祥事ゼロプログラムを踏まえた不祥事防止研修会を毎月実施するとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を利活用して神奈川県職員としての行動指針の点検を行ってきた。また、不祥事ゼロプログラムに定める項目以外にも、4月に「教師による子どもへの性加害について考える」に基づく校内研修、5月に「自己を見つめるチェックシートの活用」に基づく校内研修、12月に「教材以外の校務データの取扱いについて」に基づく校内研修等必要に応じて事故防止に係る取組を行ってきた。

今後とも、事故・不祥事の未然防止のため、必要な注意喚起を怠らず、また、職員への個別の面談等を通じて、事故・不祥事の起こらない環境づくりに努めていく。保護者はもちろんのこと、地域住民、県民等に信頼の得られる学校づくりに努めることは言うまでもないことである。

来年度は、今年度の不祥事ゼロプログラムを検証して、課題の抽出を図り、職員の共通認識のもとでより効果的な実践を行う。また、些細な事象が大きな事故や不祥事に繋がる温床となると認識して、不安要因の払拭にあたり事故・不祥事を根絶する。

以上